



校舎外観(県道側から)



普通教室・オープンスペース
(可動式間仕切りで分断可能)

6月27日(火)～29日(木)の期間、各小学校体育館にて小学校統合整備事業における住民説明会を開催しました。約60名を超える保護者や地区の方々にご来場いただき、小学校統合までの経緯や現在までの進捗状況を踏まえながら、町教育委員会が掲げる基本構想、基本計画の説明を行いました。その後、小学校建設の設計を行う平吹設計事務所が、基本設計(案)についてCG動画を交えながら説明を行いました。

小学校統合における住民説明会を開催しました

この度いただいた「明るくて開放的な印象だが、日差し対策や断熱性は確保できるのか?」「階段の蹴込み部分は児童にとって怖いのではないか?」などの建築に関する意見については、引き続き、町教育委員会と設計事務所で検討を重ね、大石田学園づくり委員会でも熟議を図りながら、基本設計に反映させてまいります。

■ 教育文化課
(35)2111 学校教育グループ
(内線)2522

説明終了後の質疑応答では、「校舎をつなぐことで、小・中学生はどういう関わりができるのか?」「インクルーシブ教育について、町教育委員会としてどう考えているのか?」など、教育委員会の方針に対して建設的な意見が出されました。

また、説明会終了後に出席者から提出していただいた意見用紙には、「CG動画はイメージしやすかった」などの声を多くいただき、児童の目線で懸念されることなど、より具体的な意見も多くいただきました。

この度いただいた「明るくて開放的な印象だが、日差し対策や断熱性は確保できるのか?」「階段の蹴込み部分は児童にとって怖いのではないか?」などの建築に関する意見については、引き続き、町教育委員会と設計事務所で検討を重ね、大石田学園づくり委員会でも熟議を図りながら、基本設計に反映させてまいります。



木内商店

佐藤 莉乃さん

お客様の車の窓ふきなどを体験しました。ガソリンスタンドでは、燃料の給油・配達、洗車、タイヤ・オイルの交換、整備、ワックス塗りなど様々な仕事があります。特にキーパーという洗車・コーティングの仕事は、寒い時は洗車機を使えないだけでなく雪も降るので、とても大変だそうです。しかし、お客様の立場になって考えながら仕事をしたり、「ありがとう」と言われたりするのがとてもうれしいそうです。



鎧絵(左官職人 工藤栄次氏)

阿部 真琴さん・大沼 香さん

こてえ 鎧絵を作る体験をしました。仕事の名前は「左官」と言って、建築物の壁を塗る仕事です。寒い時の作業は体が凍えて、漆喰もすぐに固まってしまうので急がなければいけないそうです。今回の交流のような行事は、若い人に仕事を知ってもらうことができてとても誇らしいそうです。

体験した生徒は「思った形に塗ることはとても難しかったけれど、達成感を感じることができるので、楽しかったです」と話していました。当日は、テレビの取材も来ていて、大石田を代表する職人の技の鎧絵について深く知ることができました。

取材をおして感じたこと

栗田 蒼生さん



役場の広報は広く色々な場所に行くことができて、一番職場体験に向いている職業なのではないかと思いました。そして、様々な職業のみなさんが、どんな気持ちで働いているのかを特に重点的にインタビューしました。そこでわかったのは、誰もがお客様や職場の人など相手を想って仕事をしていることです。「ありがとう」と言われると、みんなうれしくなるし、やりがいにもなります。僕は将来なりたい職業をまだ決めていませんが、どんな職業に就いたとしても、相手を想って相手の立場になって考えて仕事をするようにしたいです。

今回、取材に協力していただいたみなさん、本当にありがとうございました。